

一二五九番

佐伯山 さへぎやま 卯の花持ちし うのはなもち かなしきが て 手をし取り と  
てば はな 花は散るとも ち

一二六〇番

時ならぬ とき 斑の衣 まだら ころも 着欲しきか きほ 島の棒原 しま はりはら 時 とき  
にあらねども

一二六一番

山守の やまもり 里辺通ひし さとへかよ 山道そ やまみち 繁くなりける しげ 忘 わす  
れけらしも

一二六二番

あしひきの やまうばき 山椿咲く やまつばき 八つ峰越え やをこ 鹿待つ君が ししま きみ  
齋ひ妻かも いは つま